２０２５ ハラスメントゼロ宣言

昨年６月に制定いたしました「東映グループ人権方針」「東映グループ取引方針」および昨年６月に改定いたしました「東映コンプライアンス指針」に基づき、以下の宣言を行います。

東映グループは、「クリエイティビティを発揮するための人的投資」を最重要課題の一つとして位置づけ、全ての人員の尊厳を守り、安全に、安心して働くことのできる職場環境の構築に取り組んでおります。こうした職場環境のさらなる実現のためには、いかなるハラスメントも容認せず、その防止に向けてより強固な対策を講じることが必要です。そこで、東映グループの全ての役員・従業員と作品に携わる全てのスタッフ、キャスト並びに取引先の皆様に向けて**「２０２５年はあらゆるハラスメント行為を撲滅する」**ことを宣言します。

ハラスメントゼロの実現に向け、以下三点の施策を柱として、従来から行ってまいりました取り組みを一層強化します。

防止および対応体制の強化	東映グループ内の連携を強化し、ハラスメントおよびその 予兆となる事案への対応を迅速かつ公正に行います。 また、社外の専門機関とも連携し、より効果的な対応を図ります。
教育・研修の推進	東映グループの全ての役員・従業員 および制作スタッフを対象にハラスメントに関する教育・研修を義務化し、防止策の定着を図ります。不参加や不誠実な態度には厳しく対処します。
職場環境の改善と監視体制の強化	定期的なヒアリングを実施し、職場環境の改善を推進します。また、相談窓口の周知を徹底することや、各事業所のハラスメント担当員の一層の意識改革を促すことで、監視体制の強化を図ります。

２０２５年、東映グループではハラスメント行為の撲滅に向けて、断固たる決意をもって行動してまいります。また、全ての人員が一丸となり、この宣言に基づいて行動することを強く求めます。

２０２５年４月

東映株式会社 代表取締役社長
吉村 文雄